

4 診療科の状況

(1) 医師名簿

(平成27年度)

課・係名	職名	氏名	年齢	当院発令年月日 当院勤務年月数	備考
院長	院長	古川 重治	65	58.3.1 33.1	H28.3.31退職
副院長	副院長	三枝 伸二	55	12.7.1 15.9	
副院長	副院長 兼内科部長	大橋 保	60	3.4.1 25.0	
内科	人工透析 内科部長	吉嶺 陽仁	32	27.4.1 1.0	新規採用 H28.3.31退職
	総合診療科 部長	田中 裕之	43	21.4.1 7.0	
	医長	吉見 格	41	26.11.1 1.0	H27.10.31退職
	医長	石橋 和久	36	27.4.1 1.0	保健医療福祉課（鹿児島市駐在） から転入（一般会計支弁職員）
	医長	上村 英里	32	27.4.1 1.0	保健医療福祉課（南大隅町駐在） から転入
消化器内科	消化器内科 部長	上野 雄一	37	27.4.1 1.0	新規採用
	医務技師	田淵 雅裕	31	27.4.1 1.0	新規採用 H28.4.1 大島病院へ転出
循環器内科	循環器内科 部長	吉重 祐介	42	27.4.1 1.0	H27.4.1 大島病院から転入
	医長	大井 正臣	37	21.7.1 6.9	
外科	消化器外科 部長	宮菌 太志	49	23.7.1 4.0	H27.7.1 北薩病院へ転出
	消化器外科 部長	木原 研二	57	26.7.1 1.9	
	外科部長	塗木 健介	52	27.7.1 0.9	新規採用
	医務技師	平島 忠寛	31	27.1.1 0.6	H27.6.30退職
	医務技師	戸田 洋子	46	27.7.1 0.4	新規採用 H27.10.31退職
	医務技師	伊地知 徹也	33	27.11.1 0.4	新規採用 H27.2.29退職
	医務技師	保坂 優斗	27	28.3.1 0.1	新規採用
放射線科	放射線科 部長	原田 治	56	19.7.1 8.9	

※ 勤務年数、年齢は平成28年3月31日現在

(2) 内 科

平成 27 年度の内科は、大橋 保内科部長、総合診療科の田中 裕之総合診療内科部長、総合診療科の吉見 格医師（平成 26 年 11 月～平成 27 年 10 月）、石橋 和久医師（平成 27 年 4 月～）、上村 英里医師（平成 27 年 4 月～8 月）、人工透析内科部長の吉嶺 陽仁医師（平成 27 年 4 月～）で診療しております。

吉見医師、石橋医師、上村医師は田中総合診療科部長の元、内科全般にわたって診療に従事しています。

血液専門医の加藤 吉保医師は、平成 27 年 3 月で退職となりましたので 4 月からは毎週火曜日と月 2 回木曜日に血液外来診療を継続しています。

吉嶺医師は、人工透析内科部長として、大橋医師とともに“血尿・蛋白尿から腎不全まで”腎臓内科一般の診断・治療を行っています。腎炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症などの全身疾患に伴う腎疾患の診断・治療、急性腎不全、慢性腎不全症例の保存療法から透析導入、内シャント作成、循環器、消化器、外科などの種々の合併症のある透析患者の治療、各種血液浄化療法（血液透析療法、血液濾過透析、ECUM、血漿交換療法、エンドトキシン吸着など）を実施しています。

H27 年度実績

慢性維持透析新規導入患者数	: 18 名
内シャント設置術	: 23 件
内シャント PTA	: 13 件

田中医師は呼吸器領域を中心に、石橋医師は糖尿病領域を中心に内科一般を診療しています。また緩和ケア部門も担当しています。その他、地域医療支援機構の代診医派遣業務を行っており、南さつま市笠沙の野間池診療所等に 3 日間、薩摩川内市の下甕手打ち診療所に 3 日間の代診派遣を行いました。

呼吸器関連の検査では、気管支鏡検査 14 件、無呼吸症候群に対する PSG 検査 6 件を行いました。入院患者疾患分類は以下の通りです。

呼吸器感染症（肺炎等）	98 件（内、肺結核 10 件）
原発性肺癌	90 件
びまん性肺疾患（間質性肺炎等）	24 件
閉塞性肺疾患（COPD、気管支喘息等）	23 件
糖尿病	16 件
尿路感染症（腎盂腎炎、膀胱炎等）	15 件

また、緩和ケア部門の担当として癌の末期の患者様の受け入れも行いました。

癌末期の緩和ケア（肺癌を除く、その他の癌）	14 件
-----------------------	------

他に、熱中症、脱水症、感染性腸炎、アナフィラキシー、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、DIC、過換気症候群、ダニ媒介感染症、带状疱疹、痛風等の入院診療を行いました。

4 (3) 消化器内科

平成 27 年度の消化器内科は常勤 2 人体制が維持され、岩屋・山筋から上野・田淵へと新たな体制となった。一昨年・昨年同様、大学からの内視鏡検査の応援はなかったが、肝臓専門外来に来ていただき、肝疾患患者数も増加して時には夜まで診療頂いていた。

診療内容は前年を踏襲する形で行い、外来患者数・入院患者数は昨年度に比べて増加した。今後も患者増加を見込むには開業医の先生方からの継続的な紹介や入院日数の調整が必要と思われる。過疎化・高齢化の進む薩南地域ではいかにビジネスモデルを構築するかが今後の課題と考えられた。

内視鏡関連では診断から治療内視鏡への時代変遷の変革期であり、ニーズに耐えうる医師の質的・量的の向上、インフラ整備、スタッフ教育の必要性を感じた。

主な検査実績は（2015 年 4 月～2016 年 3 月）以下のとおりであった。

◆ 上部内視鏡検査	1,556 件
◆ 下部内視鏡検査	740 件
◆ ポリペクトミー(胃・大腸)	144 件
◆ EUS	205 件
◆ EUS-FNA	11 件
◆ ERCP	74 件
◆ MDL	17 件
◆ ESD	27 件

4 (4) 循環器内科

平成27年度は、古川重治院長、吉重祐介循環器内科部長、大井正臣医長の計3名で診療にあたりました。当科では主に心不全、冠動脈疾患(心筋梗塞や狭心症)、弁膜症疾患、大動脈疾患、不整脈疾患を中心に検査、治療を行っています。

検査としては心エコー、経食道心エコー、ホルター心電図、冠動脈CT、心筋シンチ、心臓カテーテル検査をコンスタントに施行できました。

治療としては薬物療法を基本に、人工ペースメーカー(新規、交換)や、血管内超音波(IVUS)を使用した経皮的冠動脈形成術(PCI)、鹿児島大学や鹿児島医療センターと連携し、外科的手術(冠動脈バイパス術や弁置換術、大動脈瘤手術)やカテーテルアブレーションの依頼をしながら治療も充実させています。

今後も南薩地区の循環器科の中核であるとともに、地域の診療所や病院との連携をより一層強めて、高齢化社会医療のモデルを構築していく必要があると痛切しております。

循環器科実績

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
心不全	90	94	79	92	110	93	110
心筋梗塞	17	6	10	33	61	63	98
(急性)					19	19	13
(陳旧性)					42	44	85
狭心症	-	-	53	139	72	126	183
心エコー(経胸壁)	2,311	2,282	2,253	2,321	2,233	2,235	2,262
経食道心エコー	18	10	11	12	15	20	7
Holter 心電図	353	250	240	222	253	235	251
心筋シンチ	265	246	233	264	314	286	325
冠動脈CT	1	-	-	-	17	25	74
心臓カテーテル	75	78	64	87	120	127	139
人工ペースメーカー	37	34	47	39	39	38	35
(新規)	20	22	28	24	26	29	29
(交換)	17	12	19	15	13	9	19
PCI	2	-	-	10	31	53	56
IVUS(血管内超音波法)					11	40	11

4 (5) 外 科

1. 外科の特徴

平成 27 年の外科は三枝医師（副院長）を筆頭に宮菌医師（消化器外科部長 1 月～6 月）、塗木医師（外科部長 7 月～）、木原医師（外科部長 4 月～6 月、消化器外科部長 7 月～）、平島医師（4 月～6 月）、戸田医師（7 月～10 月）、伊地知医師（11 月～2 月）、保坂医師（3 月～）のメンバーで診療を行いました。また時折元院長である福元先生に手術指導をいただいています。

消化器外科を中心に乳腺手術・肺手術・甲状腺手術も手掛けており、鏡視下手術も腹部疾患を中心に積極的に導入しています。当科では、抗がん剤治療に関して中央施設に遅れることなく、最新の知見・プロトコールを南薩地域の癌患者に提供すべく、鹿児島大学消化器外科（旧第一外科）主催の臨床研究のみならず、大学病院も含めた九州の主たる癌治療施設が参加している KSCC (Kyushu Study group of Clinical Cancer) による化学療法臨床治験にも積極的にエントリーしています。これにより消化器外科領域においてはほぼ全国レベルの抗がん剤治療の提供が可能と自負しています。

今後も地域の病院・医院・介護サービスステーションとの地域医療連携をさらに強化し、医療サービスの維持に努力します。

（文責 外科部長 塗木健介）

2. 外科の実績（平成 27 年度）

◆ 全手術症例 231 例

◆ 全身麻酔症例 194 例（鏡視下手術症例 82 例）

疾 患 名	件数 (鏡視下手術)	疾 患 名	件数 (鏡視下手術)
乳腺悪性腫瘍手術	1	結腸切除 (悪性疾患)	19(9)
気胸	1(1)	結腸切除 (良性腫瘍)	1
肺悪性腫瘍手術	4(1)	人工肛門閉鎖術	3
食道悪性腫瘍手術	3	人工肛門造設術	4(2)
試験開胸術	1 (1)	肛門ポリープ	1
試験開腹術	3(1)	直腸切除・切断術	6(4)
胃悪性腫瘍手術	11(2)	鼠径ヘルニア	46(18)
胃粘 GIST 手術	3(2)	腹壁ヘルニア	5
胆嚢摘出術 (良性疾患)	35(32)	大腿ヘルニア	3
胆嚢悪性腫瘍手術	1	臍ヘルニア	3
消化管穿孔	1	気管切開	1
甲状腺悪性腫瘍手術	2	プローベ	3
肝細胞癌	3	創処理	8
腸吻合術	1	皮膚切開術	5
腹膜炎	4	CV ポート造設	10
虫垂炎	12(9)	PEG	5
イレウス	12	PTEG	2

4 (6) 放射線科

平成 27 年度の放射線科も常勤は原田の 1 人でしたが毎週木曜日に上野いづみ先生が非常勤として読影業務にあたって下さり、週に 1 回とはいえとても助かりました。業務内容はこれまで通り主に CT や RI の検査レポートの作成です。肝臓に対する血管造影と動注療法はさらに減少しついに一桁の件数となりました。放射線治療につきましては毎週月曜日午後には鹿児島大学放射線科より放射線治療専門医の中村文彦先生が応援に来て下さり、放射線治療計画や治療中の患者さんの診察、さらには院内外の先生方からの放射線治療に関するご質問やご相談にも応じて頂いております。病棟では主に肺癌の入院での放射線治療の方や肝臓の動注療法を行う方の診療を行っています。

放射線科の実績 (平成 27 年度)

- ・ CT 3,067 件
- ・ RI 113 件
- ・ 血管造影 4 件
- ・ 放射線治療 29 件

文責 放射線科 原田 治

